

## アドビシステムズと IPTC が 報道機関向けメタデータ標準規格推進に関して協力

オープンソースの Adobe XMP がフォトグラファーおよびメディア関係者に向け  
メタデータの柔軟性と使い勝手を向上

### 【2004 年 6 月 23 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2004 年 6 月 21 日）（NASDAQ：ADBE）Adobe Systems Incorporated（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ 以下アドビシステムズ社）は本日、オープン標準の Adobe® XMP（Extensible Metadata Platform）を通じて IPTC メタデータの機能を拡張することを目指して、IPTC（International Press Telecommunications Council、国際新聞電気通信評議会）と協力することを発表しました。W3C（World Wide Web Consortium）標準に基づいた XMP は、XML で記述される仕様で、メタデータ（ファイル内容を示す情報）の取り込みおよび管理のための標準化されたフレームワークを提供します。

世界中のフォトグラファーや通信社は、IPTC メタデータスキーマを使って、キャプション、クレジット、場所、時刻、日付などの詳細情報を写真やスキャンした画像内に埋め込んでいます。これは、コンテンツ管理システムで読み取ることができ、事実上すべての新聞社が利用できる情報です。新聞社は、この情報を使って、記事とともに掲載する写真を検討し選び出すことができます。また、アドビシステムズ社と IPTC は、カスタマイズ可能なメタデータユーザインタフェースを通じて、Adobe Photoshop® CS を含む Adobe Creative Suite 製品からアクセスできるようにする開発計画についても発表しました。これは、データを取り込む工程を効率化するとともに、ニュース配信および関連ワークフローにおいて、ファイルを利用する際に関連の IPTC メタデータが保存されることを目的としています。

IPTC のマネージングディレクタ Michael Steidl 氏は、「XMP は IPTC メタデータの価値をさらに大きくします。そして、IPTC 標準に則して行なわれている報道業界のシームレスなワークフローの構築に向けた重要なステップになります。アドビ製品は世界の報道カメラマンの間で広く利用されており、重要なデータがスムーズに世界中のニュース編集局へ送り届けられることを可能とするでしょう」と述べています。

Adobe XMP を組み込むことで、画像の内容を示す情報の範囲を広げるだけでなく、IPTC メタデータは従来の活用範囲を超えることができます。たとえば、写真に使用権、制限や譲渡などの詳細情報を示すタグを付加して、編集システムとフォトグラファーが撮影した作品を直接リンクすることができます。公式に公開された XMP の仕様は、Adobe PDF（Portable Document Format）および画像ファイルフォーマットにも適用され、デジタル資産のアーカイブ化と検索を容易にします。アドビシステムズ社と IPTC の協業の 1 つとして、ユーザに向けて XMP の拡張性を利用した IPTC 推進のための戦略を練る作業グループの設立を予定しています。この作業グループの成果については、2004 年の 10 月 6 日から 8 日にアムステルダムで開催される次回の IPTC ミーティングで論じられる予定です。

アドビ システムズ社クリエイティブプロフェッショナル プロダクトマネージメント シニアディレクタ マークヒルトン (Mark Hilton) は、「メタデータは、制作ワークフローにおいてきわめて重要な役割を果たします。Adobe XMP は、Adobe Creative Suite プラットフォームとそれを構成する各アプリケーション内で、デジタルメディアのメタデータをタグとして付加し、それを管理するための効率的な手段を提供します。XMP により、IPTC メタデータを異なるファイルフォーマットやパブリッシングシステムで保存できるので、様々なメディアリソースへのアクセスが可能になります」と述べています。

また、MerlinOne Inc. 社長兼 CEO David Tenenbaum 氏は次のように述べています。「米国最大の発行部数を持つ新聞社をはじめとする当社の顧客に、著作権管理を含む高度なメタデータ機能が受け入れられるには、現在の IPTC ストラクチャを拡張する XMP の機能が不可欠でしょう。メタデータを利用して、ユーザが写真等の視覚的素材によりアクセスしやすいようにするアドビの技術は、過去 10 年間で最も意義のある前進と言えます。」

自社製品の XMP 対応に必要な、ソフトウェア開発者とシステムインテグレータ向けの無料の XMP ソフトウェア開発キット (SDK) は、アドビ システムズ社のオープンソースライセンスのもとで利用することができます。SDK および XMP に関する追加情報は、<http://www.adobe.com/xmp> をご参照ください。

#### **アドビ システムズ社について**

アドビ システムズ社は、人々のそして企業間のコミュニケーションをより豊かにするために、業界をリードするデジタルイメージング、デザインならびにドキュメント技術のプラットフォームを、一般ユーザ、クリエイティブプロフェッショナルおよび法人ユーザ向けに提供しています。アドビ システムズ社の 2003 年度の売上は 12 億米ドル超でした。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.co.jp/> でご覧いただけます。